



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 極東貿易株式会社  
 コード番号 8093 URL http://www.kbk.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡田 義也  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 岡田 薫 (TEL) 03-3244-3558  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	37,804	△13.7	△118	—	208	△58.0	△134	—
2020年3月期第3四半期	43,794	△0.9	497	△4.3	497	△54.8	284	△60.9

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 279百万円(△31.0%) 2020年3月期第3四半期 405百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	△21.86	—
2020年3月期第3四半期	45.07	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	46,401	21,371	46.1	3,477.42
2020年3月期	47,886	22,139	46.2	3,609.91

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 21,371百万円 2020年3月期 22,139百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	60.00	60.00
2021年3月期	—	0.00	—		
2021年3月期(予想)				60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	58,000	△4.0	300	△65.8	650	△21.7	250	12.8	40.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 ー 社(社名) ー 、除外 ー 社(社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	6,495,918株	2020年3月期	6,495,918株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	350,194株	2020年3月期	362,896株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	6,139,408株	2020年3月期3Q	6,318,715株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲または持分法適用の範囲の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(追加情報)	11
(重要な後発事象)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、企業収益は大幅な減少が継続し、雇用情勢の悪化や設備投資の抑制がみられました。その一方で、個人消費や生産体制において回復の動きがみられるなど、一部に改善の兆しもみられましたが、再び感染拡大傾向に転じ、景気は厳しい状況で推移いたしました。

世界経済につきましては、アメリカ大統領選挙が行われ政権が交代すること、また新型コロナウイルスに対するワクチンや治療薬開発にも進展がみられたことから世界的な株高傾向となっておりますが、ウイルスの変異種が確認され、新型コロナウイルス感染症は未だ収まる気配がなく、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社は、新型コロナウイルス感染症予防と拡大防止対策の取組みを継続し、事業活動を行ってまいりました。また、中期経営計画「KBKブレイクスルー2023」において掲げた事業ポートフォリオの最適化を推進すべく、脱炭素化社会実現に向けた取組を進めるとともに、社会インフラの安全に寄与する事業の承継など、新たな事業領域への経営リソースの投入を実施しております。

新型コロナウイルスの影響により、基幹産業関連部門における重電事業の納期遅延が継続していることに加え、産業素材関連部門における国内外向け樹脂・塗料事業と当第3四半期中盤より回復基調にはありつつも機械部品関連部門におけるねじ関連事業も累計期間として大きく落ち込んだことから、売上高は前年同期に比べ59億90百万円減少し、378億4百万円となりました。売上総利益につきましても前年同期に比べ11億10百万円減少し、51億77百万円となりました。営業利益につきましては、販売費及び一般管理費が4億94百万円減少したものの売上総利益の減少が響き、前年同期に比べ6億16百万円減少し、1億18百万円の損失となりました。

経常利益につきましては持分法投資利益が依然高い水準を維持しているものの、新型コロナウイルスの影響による新興国通貨急落を受けた為替差損などもあり、営業利益の落ち込みをカバーするには至らず、前年同期に比べ2億88百万円減少し、2億8百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましても、投資有価証券評価損に加え、事業ポートフォリオの最適化の一環として行った関係会社株式売却損により前年同期に比べ4億18百万円減少し、1億34百万円の損失となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### 基幹産業関連部門

新型コロナウイルスの影響により、重電事業において大型案件の納期遅延が継続していることに加え、自動車業界全体が低調に推移したことにより検査装置事業も落ち込んだことから、売上高は前年同期に比べ11億20百万円減少の122億7百万円となり、セグメント利益についても1億48百万円減少の3億47百万円の損失と減収減益となりました。

#### 電子・制御システム関連部門

電子機器事業におけるロシアEVバス向けのリチウムイオンバッテリー事業が堅調に推移したものの、航空電子事業における自動車業界向け温度計測ケーブルが新型コロナウイルスの影響で低調に推移したことに加え、計装システム事業については、既に同事業における販売代理業務を終了した中で受注済み案件の計上のみで終始したことから、売上高は前年同期に比べ2億79百万円減少の75億52百万円となり、セグメント利益についても20百万円減少の1億9百万円と減収減益となりました。

#### 産業素材関連部門

樹脂・塗料事業においては、メキシコ現地法人収益は業績に寄与したものの新型コロナウイルスの影響により自動車業界向け樹脂・塗料が、国内外において落ち込んだほか、複合材料事業においても航空機業界向け炭素繊維関連製品が低調に推移したことから、売上高は前年同期に比べ29億70百万円減少の88億15百万円となり、セグメント利益についても1億74百万円減少の99百万円と減収減益となりました。

#### 機械部品関連部門

本部門のコア事業であるエトー株式会社のねじ関連事業は、当第3四半期中盤より回復基調にあるものの上半期において建設機械、産業機械向けが新型コロナウイルスの影響を受け大きく落ち込んだことから、売上高は前年同期と比べ16億19百万円減少の92億28百万円となり、セグメント利益についても2億77百万円減少の15百万円と減収減益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当グループの当第3四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ14億84百万円減少し、464億1百万円となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金が18億41百万円減少した一方、前渡金が604百万円増加したこと等によるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ7億16百万円減少し、250億30百万円となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金が18億58百万円減少、前受金が8億31百万円増加したこと等によるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ7億68百万円減少し、213億71百万円となりました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失1億34百万円の計上、配当金の支払い3億67百万円の実施及び関連会社であるE&H PRECISION (THAILAND) CO., LTD.の連結除外に伴う6億44百万円の減少の一方、その他有価証券評価差額金が8億60百万円増加したこと等によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期通期の業績予想につきましては、2020年9月28日の「2021年3月期連結業績予想ならびに配当予想に関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,571	8,656
受取手形及び売掛金	17,674	15,832
商品及び製品	3,949	3,522
仕掛品	1,011	958
原材料及び貯蔵品	263	288
前渡金	2,109	2,714
その他	1,326	2,094
貸倒引当金	△18	△18
流動資産合計	35,887	34,048
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,836	1,760
減価償却累計額	△1,218	△1,182
建物及び構築物(純額)	617	578
機械装置及び運搬具	600	628
減価償却累計額	△477	△493
機械装置及び運搬具(純額)	123	134
工具、器具及び備品	1,082	1,060
減価償却累計額	△964	△963
工具、器具及び備品(純額)	117	96
土地	1,247	1,127
リース資産	142	149
減価償却累計額	△61	△67
リース資産(純額)	80	82
使用権資産	214	270
減価償却累計額	△103	△145
使用権資産(純額)	110	124
建設仮勘定	105	138
有形固定資産合計	2,402	2,281
無形固定資産		
のれん	56	42
リース資産	5	3
その他	333	443
無形固定資産合計	395	489
投資その他の資産		
投資有価証券	6,957	7,360
長期貸付金	27	24
その他	2,229	2,215
貸倒引当金	△13	△18
投資その他の資産合計	9,200	9,582
固定資産合計	11,998	12,353
資産合計	47,886	46,401

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,027	13,169
短期借入金	3,285	3,298
1年内償還予定の社債	237	237
リース債務	111	374
未払法人税等	179	60
前受金	2,610	3,441
賞与引当金	304	167
その他	704	871
流動負債合計	22,459	21,620
固定負債		
社債	475	356
長期借入金	786	623
リース債務	93	102
長期未払金	37	22
繰延税金負債	383	810
退職給付に係る負債	1,500	1,483
資産除去債務	11	11
固定負債合計	3,287	3,409
負債合計	25,746	25,030
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,496	5,496
資本剰余金	7,942	7,942
利益剰余金	9,133	7,925
自己株式	△730	△704
株主資本合計	21,841	20,659
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	465	1,326
繰延ヘッジ損益	1	8
為替換算調整勘定	△91	△552
退職給付に係る調整累計額	△77	△71
その他の包括利益累計額合計	298	712
純資産合計	22,139	21,371
負債純資産合計	47,886	46,401

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	43,794	37,804
売上原価	37,506	32,626
売上総利益	6,288	5,177
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	2,459	2,418
従業員賞与	293	238
賞与引当金繰入額	139	139
退職給付費用	186	157
減価償却費	170	164
貸倒引当金繰入額	△30	5
その他	2,573	2,173
販売費及び一般管理費合計	5,791	5,296
営業利益又は営業損失(△)	497	△118
営業外収益		
受取利息	29	14
受取配当金	117	145
持分法による投資利益	—	201
その他	58	94
営業外収益合計	205	456
営業外費用		
支払利息	23	23
持分法による投資損失	106	—
為替差損	45	60
支払手数料	9	—
その他	20	45
営業外費用合計	204	129
経常利益	497	208
特別利益		
投資有価証券売却益	76	6
特別利益合計	76	6
特別損失		
関係会社株式売却損	—	95
投資有価証券評価損	7	42
特別損失合計	7	138
税金等調整前四半期純利益	566	77
法人税、住民税及び事業税	203	116
法人税等調整額	77	94
法人税等合計	281	211
四半期純利益又は四半期純損失(△)	284	△134
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	284	△134



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	284	△134
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	218	860
繰延ヘッジ損益	25	6
為替換算調整勘定	△136	△406
退職給付に係る調整額	27	6
持分法適用会社に対する持分相当額	△14	△53
その他の包括利益合計	120	413
四半期包括利益	405	279
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	405	279
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

第2四半期連結会計期間において、E&H PRECISION (THAILAND) CO., LTD. の一部売却により持分法適用の範囲から除外いたしました。この結果、利益剰余金が6億44百万円減少しております。

(連結の範囲または持分法適用の範囲の変更)

(1) 連結の範囲の重要な変更

該当事項はありません。

(2) 持分法適用の範囲の重要な変更

第2四半期連結会計期間においてE&H PRECISION (THAILAND) CO., LTD. は株式の一部売却により、持分法適用の範囲から除外いたしました。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	基幹産業 関連部門	電子・制御 システム 関連部門	産業素材 関連部門	機械部品 関連部門	計		
売上高							
外部顧客への売上高	13,327	7,832	11,786	10,848	43,794	—	43,794
セグメント間の内部売上高 又は振替高	34	42	325	240	642	△642	—
計	13,362	7,874	12,111	11,088	44,437	△642	43,794
セグメント利益又は損失(△)	△198	130	273	293	499	△1	497

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△1百万円は、棚卸資産の調整によるものであります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が低いため、注記を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	基幹産業 関連部門	電子・制御 システム 関連部門	産業素材 関連部門	機械部品 関連部門	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,207	7,552	8,815	9,228	37,804	—	37,804
セグメント間の内部売上高 又は振替高	91	64	168	242	566	△566	—
計	12,298	7,616	8,984	9,470	38,370	△566	37,804
セグメント利益又は損失(△)	△347	109	99	15	△122	3	△118

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額3百万円は、棚卸資産の調整によるものであります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が低いため、注記を省略しております。

各報告セグメントに属する主な取扱商品・サービスは以下のとおりです。

セグメントの名称	主な取扱商品またはサービスの内容
基幹産業関連部門	鉄鋼、非鉄、自動車、化学、造船、プラントエンジニアリングなどの関連機械装置、電気機械設備、石油掘削関連機器、石油・天然ガス探鉱技術サービスなどの資源開発機器、工場施設に関連する部品・据付修理等を販売
電子・制御システム関連部門	電子機器、電子部品及びソフトウェア、計装制御システム、振動計、画像処理装置、航空機搭載電子機器、地上支援電子機器、航空機用機材、航法装置、リチウムイオン電池などを販売
産業素材関連部門	複合材料製造設備、繊維加工機械、食肉加工機、樹脂加工機械、塗装設備、測定・分析装置、食品用副資材、樹脂、塗料、建設用資材、合成複合材料、鋳鍛造品、不織布製品などを販売
機械部品関連部門	定荷重ばね、ぜんまい、ステンレス製各種ばね類、ねじ鉚螺その他工具、ねじ関連機械器具などを販売

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

当グループは前連結会計年度の有価証券報告書において、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響が少なくとも2020年9月期まで続くとの仮定のもとに会計処理に反映しておりました。これに対し、第2四半期連結会計期間において行った見直しから引き続き、段階的な経済活動の再開により緩やかな回復が期待できるものの、当連結会計年度中は引き続き影響を受けるものと仮定して会計上の見積りを会計処理に反映しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。